

あい子先生

* わたしの大切なもの *

「手芸用品」

昔から手芸が好きで、その小道具を集めるのがさらに好きでした。子育て中は、パジャマ袋など必要に迫られた物しか作っていませんでしたが、娘たちが親元を離れて寂しくなったので再開させました。

初めは編みぐるみでうさぎや犬を作りました。好きな色の毛糸を集めては、色を変えて楽しみました。今は刺繍です。裁縫箱（アラジン風の絵が描いてあるもの）は、小学生の時からのもので大事に使っています。刺繍糸の半数も同じく小学生の時の物で、あの当時は姉の影響を受けてスウェーデン刺繍をやっていました。刺繍した物を小袋に仕上げては娘たちに喜んでいます。

以前は、クローゼットの奥にしまい込んでいましたが、今はいつでも見て手に取りやすいようにすぐ傍のチェストに収納してあります。白のチェストにいっぱい詰まった手芸用品の数々、それが今の私の大切な物です。



こどものつづやま ことば&アート



3歳児 女児



4歳児 男児



5歳児 男児

担任に代わって担任外の保育士が夕方2歳児クラスに入り子ども達と過ごします。退勤時間になり帰ろうとすると・・・

Mちゃん「みんなとあそんでくれてありがとう！
またきてね～！」
タッチ～！！

ちょっとずつ言葉が出てきた0歳児のMちゃん。
絵本を見ながら・・・

Mちゃん「もぉ～もぉ～！」
H先生「モーモー、うしさん？」
絵本を覗いてみると「桃」を指さしていました！

……ぶっくえんど……

お風呂屋さんにある自動販売機で見つけた箱牛乳「なにそれ～！」と興味津々の小学生の子どもたち。今の子どもたちはパック牛乳がお馴染みですもんね。わたしはまだ瓶世代です！！給食当番の牛乳係が回ってくるまで1週間憂鬱でした。爪を切ったばかりの月曜日は瓶の蓋がうまく開けられませんでした。ミルクの日には、はじめて飲む牛乳の微調整が大事でした。など…。瓶牛乳あるある「わかる～！」と思ってくれた方、たくさんいますか？自分達の常識が今は変わってしまっていること、子ども達に色々教えていきたいなと思いました！

ぶらんこ担当 坂野 香佳



ぶらんこ

第107号 2022年9月27日
松ヶ岬保育園
〒992-0059
米沢市西大通1丁目6-56
TEL21-0349/FAX21-0369
E-mail matsuga@smile.ocn.ne.jp
http://www.syogokai.jp/matsugasaki/



保育のカタチ

チーム保育

～あれこれ～

松ヶ岬保育園の幼児組には年齢別の3クラスの他に、異年齢縦割りのクラス割があり、このクラス割による保育を「チーム保育」と呼んでいます。

本年度も「トーマスチーム」「かまきりチーム」「さくらチーム」の3つのチームで活動しています。各々のチームには、年長、年中、年少の子がいて、年間を通じてチームで様々な活動をしています。チームでお散歩に行ったり、チーム毎に自ら決めた材料で、色々なカレーを作る調理実習をしたり、運動はつびょう会の玉入れやリレーはチーム対抗で行います。コロナ禍前は、チーム毎の応援合戦も行っていました。

チーム保育を取り入れている理由、それは多様な人との関わりです。年齢別クラスの中では他のリーダーとなる子がいて自己発揮できなかった年長のお子さんが、メンバーの異なるチーム保育の場面、例えば運動はつびょう会でチームのリーダーとなり活躍することができたりします。また、午睡後の着替えを手伝ったり散歩で手を繋ぐなど大きい子が小さな子の面倒を見たり、調理実習などでは小さな子が大きな子の模倣をしたりと、年齢が異なる子同士と一緒に活動することでお互いに良い影響が見られます。さらに、保育者にあっても、担任のお子さんの知らない面を、チーム保育の担当から聞かされて子ども理解を深めたり、いつもと違う年齢のお子さんを担当することによって、新しい発見や気づき、そして自分の保育の振り返りの機会にもなっているようです。

ドラえもん時代の町内の子ども集団を、保育園の中で再現しているのかも知れません。



あ～あなたのおなまえは

一名前に込めたメッセージ

珂偉くん・利希くんのお母さん
唐澤 朝美さん



我が家のヤンチャっ子兄弟、兄は珂偉、弟は利希と言います。我が子2人とも直感型のパパが音、思考型のママが漢字を考えました。そして、名前はみんなに親しまれやすいように2文字と決めていました。まず兄の珂偉ですが、結婚したらすぐに子供が欲しいと思っていたものの、なかなか子宝には恵まれず、妊娠した時は本当に嬉しく、家族皆人もとても喜んでくれました。家族が増えていく嬉しさを感じ、私たちのところに来てくれて、みんなが珂偉の誕生を待ち侘びて、...。そんな意味合いから、珂偉の珂は「しろめのう」と言う石の名前なのですが、その石の持つ意味が家族や兄弟、周りの人を大切にするという意味があります。その意味を知った時、ピッタリだ！と思いました。「カイ」という音は、割とすんなり空から降ってくる様に決まり、びっくりする逸話は、私の母に「赤ちゃんの名前決まったよ。」と報告すると、母の方から「カイ！」と言われたのでした。まさに空から降ってきた名前、...。と私は思っています。

そして、弟の利希は兄の珂偉とは打って変わってすんなりと私のお腹に宿ってくれたのです。あまりにもすんなり過ぎて私たちの心の準備もないまま、コウノトリが置いていくとはこう言うことか、という「奇跡」のようなものを感じていました。なので「キセキ」の響きが明るく爽やかな自由な感じ、そして、次男坊なので伸び伸びと明るい未来に向かっていく、というイメージから、利希の利はパパから1文字もらって大きく健やかに、利希の希は希望の希、と決めました。

命名してから、珂偉はもう4歳、利希は2歳になります。夫と「珂偉も利希もいい名前だよ。」と今でも言っています。子供たちにも自分の名前を大好きになってもらえたらなあ～と思います。



いつもいっしょ

～お気に入りのおもちゃ紹介～

千裕ちゃん
悠月ちゃんのお母さん
飯塚 千晶さん



うさぎのぬいぐるみ

我が家の長女、千裕には大事にしているうさぎのぬいぐるみがあります。これは1年ほど前、私の母（千裕の祖母）が何かを買ってくれようとした際、いくつかの候補から娘が即決して選び、お迎えしたうさぎさんです。それからというもの、

寝る時にはいつも一緒に、同じ椅子に座らせたりミルクを飲ませたり、オムツを履かせたりおんぶをするなどのお世話もし、「そろそろお風呂（洗濯）入らないといけないんじゃない？」なんて言ってきたりします（笑）。ビーズでネックレスも手作りし、着け外して楽しんでいるようです。

娘は最近『トイストーリー』が好きで私もよく一緒に見えています。本当におもちゃたちに自我があるとすれば、このうさぎさんはきっと喜んだり誇らしげな気持ちでいるのだろうな～。なんて考えたりしてしまいます。

こんなに大事にされているうさぎさん、娘にとっても私にとっても特別思い入れのあるぬいぐるみです。大人になってもずっと大切にしておいてあげたいなと思っています。これから先も、色々なおもちゃやお気に入りの物に出会う機会があるのですが、新しいものを優先するのではなく、愛着を持って大事にしたり、優しくする気持ちを育てていってほしいです。



給食フリートーク

しゃべっていいとも!



給食担当職員が食事に関する事で「今！」みなさんにお伝えしたいこととお話する、フリートークコーナーです!



みなさんこんにちは～。栄養士のタカコです!
米沢の秋の定番といえば、もちろん! 「いも煮」ですよね～。

老若男女問わず「いも煮会」という集まりがみんな大好き!? 町内で! 子ども会で! 小学校で! いも煮会～♪私の中学時代には班ごとに分かれてそれぞれ材料を買ってきて、自分たちでかまどを作り、火をおこし、一から作って食べるという行事にもなっていました。高校生になると友達同志で道具を持ち寄り、秋晴れの中河川敷で楽しみ、大人になれば仲間同志子連れでワイワイと♪そんな愛して止まない、いも煮&いも煮会です♥

これもまた家庭の味が出ますよね。定番は里芋・しめじ・こんにゃく、牛バラ肉・長ネギですが、大根やごぼうをいれてもボリュームが出て good! きのこが好きな方は舞茸・えのきも入れたり、こんにゃくも我が家は糸こんにゃくというところもあったり。そして最後のシメはやっぱり「カレーうどん」!! これを食べたくて、いも煮を多めに作ってしまう私です。

身近な材料で作ることが出来る、いも煮。米沢の秋の味。どんどん作って自分の味を完成させてみてはいかがでしょうか??